

公園協会の防災上の取り組み

公園協会の管理する公園では、災害時や緊急時に備え、防災対応力の強化と普及啓発に取り組み、安全・安心な公園づくりを進めています。さまざまな都立公園の取り組みを紹介します。

大規模救出・救助活動拠点の確保

災害時に自衛隊などのヘリコプターの離発着場所やベースキャンプとなる大規模救出・救助活動拠点の確保は、防災公園の大きな役割の1つです。汐入公園は、東白鬚公園と一体となって大規模救出・救助活動拠点「白鬚東地区及び汐入公園」になります。日頃から関係機関と訓練を行っています。



ヘリコプター離発着訓練の様子



総合防災訓練の様子

避難場所としての取り組み・地域との連携関係の構築

災害時の延焼火災などから身を守る避難場所としての機能を発揮するため、公園近隣の住民の皆さまや地元消防署等との訓練を実施し、地域との連携強化を図っています。



地元消防署との訓練



近隣町会との防災訓練（防災トイレ組立）



トピックス

地域密着型防災公園

汐入公園は、白鬚西地区を災害に強く安全で快適なまちにする再開発事業で整備され、2006年4月に開園しました。隅田川に面しており、親水空間として都民の憩いの場所となっています。公園の周囲には、保育園・幼稚園・学校が数多くあり、学校行事などを通じて子ども達が公園で防災について学んでいます。



防災意識の普及

イベントや防災訓練において、防災関連プログラムを実施し、来園者の方の防災意識の普及啓発を図っています。楽しみながら防災を学んでいただけるよう、様々な工夫をしています。



近隣小学校生徒を対象とした
防災施設勉強会



消火器使用
体験ゲーム



かまどベンチ使用体験

震災に備えた職員の対応力向上の取り組み

公園協会では、発災に備え、防災無線通信訓練やAED訓練のほか、様々な時間帯（早朝、日中、夜間）を想定した職員の震災対応訓練を実施しています。



かまどベンチ組立て



職員による
心肺蘇生訓練



夜間の訓練



災害対策備品を防災保管庫
に取りまとめ、サービスセ
ンターに備え付けています

防災士などの有資格者の配置

発災時の安全確保に向けて、防災士の計画的な配置をはじめとして、職員の救命救急講習やAED取扱い講習の推進を図っています。



防災士による防災トイレテントの
組立て講習の様子



ぼく、ともすけ。
ぼくの名前は、
共助からきているんだよ



防災関連施設の定期点検

いざという時に公園にある様々な防災関連施設の機能を十分に発揮できるよう、定期的な点検を実施しています。



防災トイレ点検



かまどベンチ点検

防災関連リーフレットの配布

園内の防災関連施設や情報発信を目的として、公園ごとの「私たちの防災力」を配布しています。また、防災意識啓発の一環として、発災時に役立つリーフレットを作成しています。

